

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第46週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (46週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：つつが虫病 2 例、日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：百日咳 7 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	—
		都城	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
		小林	80歳代	男	結核性髄膜炎	発熱、項部硬直
			90歳代	男	肺結核	痰
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		都城	90歳代	男	—	発熱、発疹
	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹
5類	百日咳	宮崎市	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、嘔吐、白血球数増多
			0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	女	—	持続する咳
		都城	40歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		日南	10歳代	男	—	持続する咳
		日向	5~9歳	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 533 人(定点当たり 14.2) で、前週比 114%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

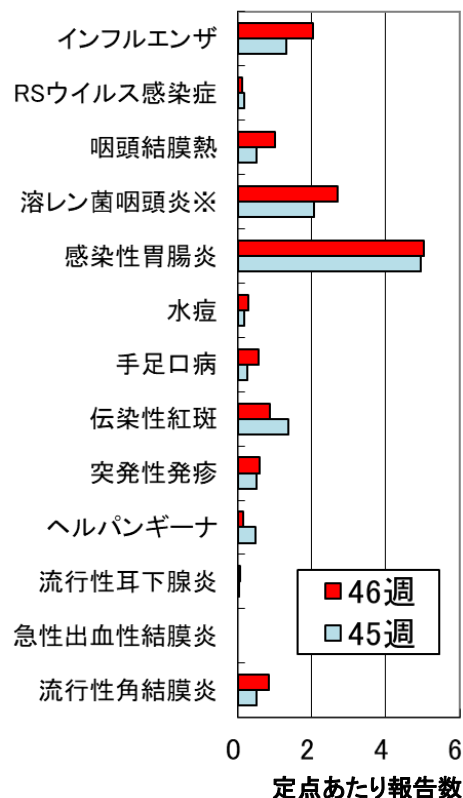
報告数は 120 人(2.0)で、前週比 155%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.45)の約 4.5 倍である。都城(3.6)、高鍋(3.5)、宮崎市(2.6)保健所からの報告が多く、年齢群別では 5~9 歳が全体の約半数を占めた。

【伝染性紅斑】

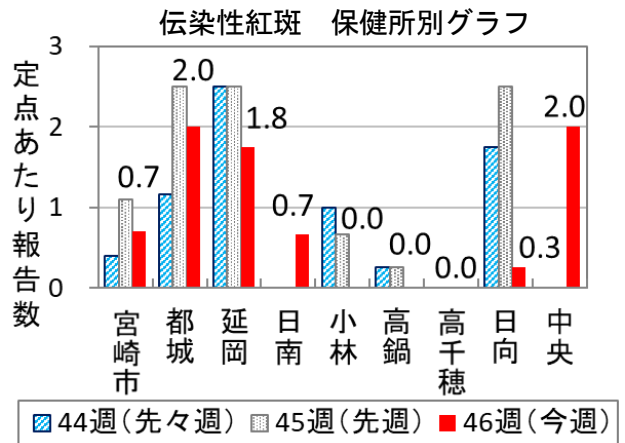
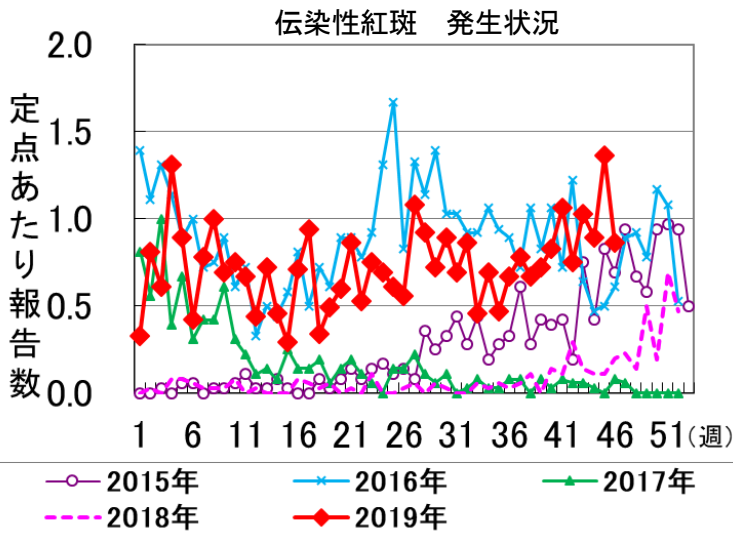
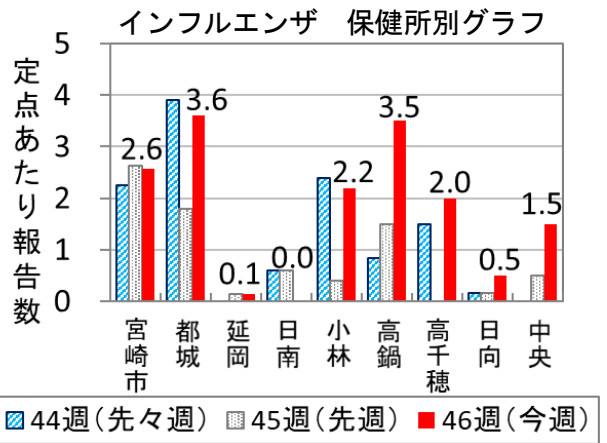
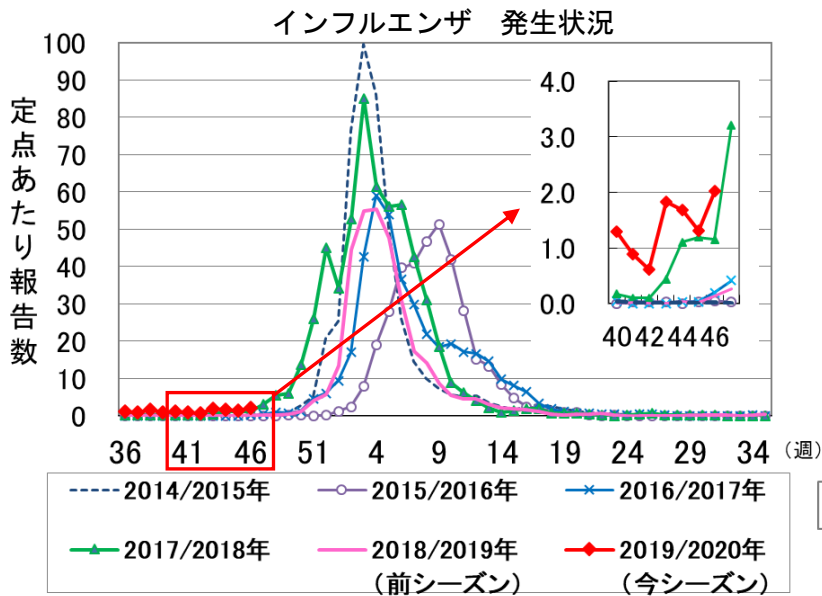
報告数は 31 人(0.86)で、前週比 63%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.34)の約 2.5 倍である。都城、中央(各 2.0)、延岡(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別では 4~5 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	伝染性紅斑(2.0)
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	咽頭結膜熱(3.0)
日向	なし
中央	水痘(1.0)、伝染性紅斑(2.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・水痘(1.0)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和元年11月19日までに検出)

★細菌

報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
アデノウイルス2型	0～4歳	男	2019.09.26	ヘルパンギーナ、40.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.11.15
インフルエンザウイルスAH1pdm09	50歳代	男	2019.10.02	インフルエンザA型 38.2℃、頭痛、咽頭痛、筋肉痛	咽頭ぬぐい液	2019.11.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	男	2019.10.08	インフルエンザA型 39.0℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2019.11.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	女	2019.10.16	インフルエンザA型、40.3℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2019.11.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	女	2019.10.19	インフルエンザA型 40.3℃、気管支炎、嘔気・嘔吐	咽頭ぬぐい液	2019.11.06
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.10.21	インフルエンザA型、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2019.11.11
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2019.10.25	インフルエンザA型、発熱	鼻汁	2019.11.11
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2019.10.26	インフルエンザA型、発熱、上気道炎	鼻汁	2019.11.11
ライノウイルス	10歳代	女	2019.10.15	呼吸不全、喘息発作、縦隔気腫、38.1℃ 右上葉・下葉無気肺、下気道炎(肺炎)	咽頭拭い液	2019.11.18

○インフルエンザA型と診断された7名からインフルエンザAH1pdm09が分離された。2019年11月18日現在の全国のインフルエンザウイルス分離・検出情報をみるとAH1pdm09が突出して多い。当所では今シーズンに入り、AH1pdm09のみが13件分離されている。

📊 全国 2019 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 45 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	242 例				
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	44 例
	パラチフス	2 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	4 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	15 例	デング熱	6 例	日本紅斑熱	11 例
	日本脳炎	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	52 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	25 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	41 例
	水痘（入院例）	8 例	梅毒	50 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	167 例
	風しん	3 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 93%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は 5,084 人(1.0)で前週比 108%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値* (0.44) の約 2.3 倍である。沖縄県(4.5)、鹿児島県(2.7)、青森県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 1,674 人(0.53)で前週比 91%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値* (0.30) の約 1.8 倍である。熊本県(1.7)、大分県(1.6)、宮崎県(1.4)からの報告が多く、年齢群別では 4～6 歳が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第46週(11月11日～11月17日)

疾病名		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	77	120	41	36	1		11	21	4	3	3
	定点当り	1.31	2.03	2.56	3.60	0.14	0.00	2.20	3.50	2.00	0.50	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	7	4	2			1				1	
	定点当り	0.19	0.11	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	36	17	3	7	1	2		3	3	
	定点当り	0.50	1.00	1.70	0.50	1.75	0.33	0.67	0.00	3.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	74	97	18	16	16	20	7	4		9	7
	定点当り	2.06	2.69	1.80	2.67	4.00	6.67	2.33	1.00	0.00	2.25	7.00
感染性胃腸炎	報告数	178	181	29	44	4	27	22	17		25	13
	定点当り	4.94	5.03	2.90	7.33	1.00	9.00	7.33	4.25	0.00	6.25	13.00
水痘	報告数	6	10	3	1	2	2				1	1
	定点当り	0.17	0.28	0.30	0.17	0.50	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	9	20	10	2	1			6			1
	定点当り	0.25	0.56	1.00	0.33	0.25	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	49	31	7	12	7	2				1	2
	定点当り	1.36	0.86	0.70	2.00	1.75	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	2.00
突発性発しん	報告数	18	21	5	2	4	3	2	2		3	
	定点当り	0.50	0.58	0.50	0.33	1.00	1.00	0.67	0.50	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	17	5	2	1	1				1		
	定点当り	0.47	0.14	0.20	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3			1	1				1	
	定点当り	0.03	0.08	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	5	1	4							
	定点当り	0.50	0.83	0.33	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～46週)

2類感染症	結核	178例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	11例(2)
	日本紅斑熱	8例(1)	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	4例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	18例
	破傷風	2例	百日咳	290例(7)
	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲